

知って当たり前 介護ガイド帳



上原喜光

私が籍を置く「全国介護者支援協議会」と「光が丘地区住民組織連合協議会」とで共同運営する「光が丘きずなサロン」が、先月12日にオープンしました。

東京都練馬区内にある光が丘団地は、約1万2000世帯、約2万9000人が暮らすマンモス団地。うち65歳以上の高齢者は、約6000人を数えます。高齢化率は21%。一人暮らしの高齢者も多く、孤独死もありました。

基本理念は「自宅の居間がもう一部屋できた」。毎週水曜日の午前10時から午後5時の開催で、お茶代100円でお茶やコーヒーを飲みながら会話を楽しめず。毎回、70~80人の高齢者が来室して話をしてしています。

実は、サロン開設前は不安がありました。女性はたくさん来て、男性は少ないと思っていたのです。ところが、いざフタを開けてみると、男性が6割という割合でした。

ある男性と話してみると、奥さんを亡くし、一人

交流サロンに集まる独居老人



住まいの独居老人だということが分かりました。ただ、そこに来ていた男性のほとんどは、独居老人だったのです。

「一日中、家にいて、何日も他人と話してないんだよね」

話すこと自体が楽しいという人が多数いて、びっくりました。また、寒い夜に一人でいると、「物悲しくなると、これからのことを考える。死んでしまいた

くなるんだ」なんて冗談にならないことまで言ったりします。

このサロンに来て、議題があるわけでもなく、取り留めのない

話で一日は終わります。ですが、さすがに顔になっていく。人と話すことがこんなに大事だとは思いませんでした。

その顔を見て、サロンを開設してよかったと思います。場所は、大通り中央1号棟集会所です。この記事を読まれた団地の方は、ぜひ☎090・4828・3910まで電話ください。

(全国介護者支援協議会 会長)